

諸人のここに学びて—校長室から見える風景—(44)

まもなく第1回定期考査

全但総体が終わったと思ったら、第1回定期考査が近づいてきました。職員室前のろうかや学校図書館で学習している生徒が増えてきます。しっかりと準備をして考査に向かってほしいものです。振り返ると教諭時代は「こんな構文や表現を理解してほしい」「長文を読めるきっかけをつかんでほしい」と考えながら考査を作成していました。その考査を受ける側になるとどうだったのかなあと考えてしまいますが、テスト勉強は学習内容を振り返り「わからないところがどこか(何か)わかる」のがはじまりかもしれません。授業を一度聞いて全てを理解できる人はいません。そこから、「見つかったわからないところをわかる」ために、自分で考えたり、先生にたずねたりするところに進むのではないのでしょうか。いい意味で「先生を使って」ください。「わかる」ということは、とても達成感のあることです。こんな気持ちを感じると、必ず次に進む原動力になります。機械にはできないことです。ぜひ定期考査を大事にしてもらいたいですね。

職員室前の年次・学年の生徒連絡用のホワイトボードに書かれていたカウントダウン?を写真に撮りました。ぜひ最善を尽くしてテストに臨んでください!!

